

磐城時報

石城郡平町 印刷部
印刷所 石城郡平町 印刷部
電話 一四四
代印 所 磐城時報社
代印 所 磐城時報社
代印 所 磐城時報社

一日も早く

解決が望ましい

曙光も見ぬ 某識者の談

警務炭礦を中心として勃發した當地方空前の労働争議は去月二十四日その凄惨な幕が下つた。その當時に比べると現在入坑者、出炭量共に幾分増加の傾向あり、争議は下火に傾いたと見らる。筋もあるが、決して解決の具體的曙光さへも見えず能はず、火の手は最近更に湯本町入山炭礦其他方面に擴大する兆があつて地方一帯は全く不安の状態を保つてゐるが、之に對し會社の態度は飽くまで強硬で争議側の自滅を待つのみで妥協の意志殆んどなきものゝ如く、一方争議側でもこの際何等の大義名文に基かずにこのまゝ争議を打ち切らぬのは支部を設置した第一回の労働運動として將來に汚点を殘すものとして飽くまで争ひを繰り返す意氣なかく盛んなものあり事件はこぢれた形に入つて爲めに俄かに右から左へと解決至難の情勢にあるが、之に對し某識者は語る。

麻生久氏

けふ來援
警務炭礦労働争議に關し秋田、郡山等各労働組合では應援に奔走するが如きものがある、從來走してゐる事既報の如くである。行はれた双方の暴行事件等は、或は萬止むを得ぬに出でた結果だらうが今後は温和な方策に出で只管解決に向つて努力するものが利益であると思ふ。

漸やく増加

警務炭礦の争議は會社側の強硬な態度に反し坑夫組合の争議團二百余名の出入りを受け白米と漸次に切り崩され入坑坑夫も共に示威運動を行ひつゝ警務炭礦争議團本部に乗り込んだ。

遂に三十名検査する

十六日午後十時頃内郷村大字宮で五十嵐が之を呼び止の對談中本坑夫組合警務支部員五十嵐某等が之を呼び止めたため口論となり外一名が牛肉をついて飲酒し果は鐵拳騒ぎを演じてゐるのを傍で見てゐた一人の建國會支部員は建國會本部に「同僚が殴られてゐる」と急を知らせたので本部から三十余名、それつばかりに駆けつけ大観トメ方を包圍して五十嵐某を散々に殴打した、急報により高坂坑警備本部から警官数名急行し居合はせられた。建國會本部書記長赤尾敏(三八)外三名を検査し十七日午前一時平町に留置午前八時から平町署に留置され、小倉各警備部が取調へ六人は傳染病、十八人は肺結核のなごもあるので数字以上の死亡に達したもので殆ど大半は肺結核に達してゐる事は充分想像に送り検事の拘引状により平刑來ないものがある、結核も肺結核以外其他の結核で死亡したの

最も恐ろしい結核病

平町の大正十五年中の死亡者は十餘名になつてゐるから係員三百八十七名であつてその中二は肺結核の七十八人は届出の百六十四人の土葬があつたのみであつたもので一々調査をしたもので全部火葬に附されてゐるのでないから更に嚴密な調査をやらねばならぬ。中には他の死因に比べて結核をかくすものもあつたので数字以上の死亡に達したもので殆ど大半は肺結核に達してゐる事は充分想像に送り検事の拘引状により平刑來ないものがある、結核も肺結核以外其他の結核で死亡したの

平町の死亡調べ

平町の大正十五年中の死亡者は十餘名になつてゐるから係員三百八十七名であつてその中二は肺結核の七十八人は届出の百六十四人の土葬があつたのみであつたもので一々調査をしたもので全部火葬に附されてゐるのでないから更に嚴密な調査をやらねばならぬ。中には他の死因に比べて結核をかくすものもあつたので数字以上の死亡に達したもので殆ど大半は肺結核に達してゐる事は充分想像に送り検事の拘引状により平刑來ないものがある、結核も肺結核以外其他の結核で死亡したの

四倉火打合

盛況であつた
入出は二分の一
四倉町年中行事の一つとして最も期待されてゐる恒例の陰曆正月十三日から十五日迄の火打合は本年は諒中の事故中止すべしとの説もあつたが第一期の火打合は既にあつたので本年も華々しく決行することとなり去る十四日から仲町、新町の兩組に別れ界川をはさんで數百の壯丁が兩岸に對峙し數ヶ所に薪を積重ね日没頃から宵暗の裡に猛烈なる戦端を開始したが第一日、第二日共兩軍勢ひ相伯仲し猛烈な戦つたが本年は一名の負傷者も出さなかつた、而して見物人は本年は例年に比し約二分の一に過ぎぬ状態だがそれでも四倉の難踏は物凄程で所轄四倉署では係官を派し嚴重取締をなす處があつた。

平青年團

平町青年團幹部會は十七日午後六時から警務銀行樓上に開き左記事項を協議する。
▲活動寫眞開演の件 ▲雄辯會開催の件 ▲明年度豫算編成の件 ▲春期總會の講師決定の件

三郡魚會

石城、多賀三郡魚會會議は十六日午後一時から五丁目鈴木本署で係官を派し嚴重取締をなす處があつた。

平模擬市會 市會議員得票

三五一票	吉田寅之輔氏
三〇二票	井上貞次郎氏
一七二票	綠川三郎氏
一五三票	齋藤英三郎氏
一四〇票	三森虎雄氏
一三七票	白井雅治氏
一三六票	酒井清氏
一三二票	高橋龜松氏
一三〇票	鈴木昌雄氏
一二九票	吉村安次郎氏
一二八票	柴田守次氏
一二七票	山野邊東次郎氏
一二六票	關内正一氏
一二五票	須田基太郎氏
一二四票	馬目武之助氏
一二三票	須田基太郎氏
一二二票	馬目武之助氏
一二一票	須田基太郎氏
一二〇票	馬目武之助氏
一一九票	須田基太郎氏
一一八票	馬目武之助氏
一一七票	須田基太郎氏
一一六票	馬目武之助氏
一一五票	須田基太郎氏
一一四票	馬目武之助氏
一一三票	須田基太郎氏
一一二票	馬目武之助氏
一一一票	須田基太郎氏
一一〇票	馬目武之助氏
一〇九票	須田基太郎氏
一〇八票	馬目武之助氏
一〇七票	須田基太郎氏
一〇六票	馬目武之助氏
一〇五票	須田基太郎氏
一〇四票	馬目武之助氏
一〇三票	須田基太郎氏
一〇二票	馬目武之助氏
一〇一票	須田基太郎氏
一〇〇票	馬目武之助氏
九九票	須田基太郎氏
九八票	馬目武之助氏
九七票	須田基太郎氏
九六票	馬目武之助氏
九五票	須田基太郎氏
九四票	馬目武之助氏
九三票	須田基太郎氏
九二票	馬目武之助氏
九一票	須田基太郎氏
九〇票	馬目武之助氏
八九票	須田基太郎氏
八八票	馬目武之助氏
八七票	須田基太郎氏
八六票	馬目武之助氏
八五票	須田基太郎氏
八四票	馬目武之助氏
八三票	須田基太郎氏
八二票	馬目武之助氏
八一票	須田基太郎氏
八〇票	馬目武之助氏
七九票	須田基太郎氏
七八票	馬目武之助氏
七七票	須田基太郎氏
七六票	馬目武之助氏
七五票	須田基太郎氏
七四票	馬目武之助氏
七三票	須田基太郎氏
七二票	馬目武之助氏
七一票	須田基太郎氏
七〇票	馬目武之助氏
六九票	須田基太郎氏
六八票	馬目武之助氏
六七票	須田基太郎氏
六六票	馬目武之助氏
六五票	須田基太郎氏
六四票	馬目武之助氏
六三票	須田基太郎氏
六二票	馬目武之助氏
六一票	須田基太郎氏
六〇票	馬目武之助氏
五九票	須田基太郎氏
五八票	馬目武之助氏
五七票	須田基太郎氏
五六票	馬目武之助氏
五五票	須田基太郎氏
五四票	馬目武之助氏
五三票	須田基太郎氏
五二票	馬目武之助氏
五一票	須田基太郎氏
五〇票	馬目武之助氏
四九票	須田基太郎氏
四八票	馬目武之助氏
四七票	須田基太郎氏
四六票	馬目武之助氏
四五票	須田基太郎氏
四四票	馬目武之助氏
四三票	須田基太郎氏
四二票	馬目武之助氏
四一票	須田基太郎氏
四〇票	馬目武之助氏
三九票	須田基太郎氏
三八票	馬目武之助氏
三七票	須田基太郎氏
三六票	馬目武之助氏
三五票	須田基太郎氏
三四票	馬目武之助氏
三三票	須田基太郎氏
三二票	馬目武之助氏
三一票	須田基太郎氏
三〇票	馬目武之助氏
二九票	須田基太郎氏
二八票	馬目武之助氏
二七票	須田基太郎氏
二六票	馬目武之助氏
二五票	須田基太郎氏
二四票	馬目武之助氏
二三票	須田基太郎氏
二二票	馬目武之助氏
二一票	須田基太郎氏
二〇票	馬目武之助氏
一九票	須田基太郎氏
一八票	馬目武之助氏
一七票	須田基太郎氏
一六票	馬目武之助氏
一五票	須田基太郎氏
一四票	馬目武之助氏
一三票	須田基太郎氏
一二票	馬目武之助氏
一一票	須田基太郎氏
一〇票	馬目武之助氏
九票	須田基太郎氏
八票	馬目武之助氏
七票	須田基太郎氏
六票	馬目武之助氏
五票	須田基太郎氏
四票	馬目武之助氏
三票	須田基太郎氏
二票	馬目武之助氏
一票	須田基太郎氏

今年も盛んであつた 慣習「鳥小屋」祭り

警城地方には舊正月十五日の夜追は海岸地方に主に行はれてゐるが、鳥小屋及び鳥おひをする習慣は、十一、二歳から十七八歳位まであり、一つの名物として知られてゐる。恰度十四日に各村に於て、この鳥小屋及び鳥追が行はれたが、鳥小屋といふのは町村の若連があつて、小屋大將を年長者からえらび、各戸から藁、竹等を貰ひあつめて田浦や海邊等に小屋を立てその屋根には松

時事問題について 讀者の意見を募る

吾等が住む石城の天地、將に將に多事多端である。市制を施かんとする平町にも幾多改善に迫られたものがあるではないか。更に附近を見よ、曰く労働争議、小名濱港問題、曰く何々々。之等に關し各位の忌憚なき御意見の投書を望む。

行數制限なし 宛名編輯部

飾りをして、歳徳明神と大書女三十三歳の厄年に當る家ではした旗を押し、四十二、二十徹宵してこの鳥追群を待つて厄五の厄男が七つの鳥小屋に詣り佛の祝宴を張るので、この一郡は年中頭痛がしなさいといひ傳へは夜明けのまで慶祝の家の廻らされてゐる、拂曉になつてそのり歩き一同鳥小屋に泊るので、小屋に火を放ち厄を拂ふことに左の二つは鳥追の歌として右なるので、老幼男女はいづれから歌はれてゐるが、この鳥家飾つた注連繩を持つて来て小屋、鳥おひは地方色を可成濃小屋で焼き厄災を遷れると言つ厚に見せた警城地方の慣習であつて神酒を戴くのである、また鳥。

投票用紙

模擬平市會議員

▲安波様から吹きくる風はたやちとれ〜千兩萬兩え〜
▲豊年だ〜三年の豊年だ、す〜はいらぬぞ箕ではかる。

町への苦言

富岡町 S 生
俺は富岡町民ではないが、四五年このかた、町當局や議員の入達が一緒に居る様だから忠言を言つて居る様だから忠言するのだ。

俺なら取つちめる事は澤山の責任を負ふことはないが、四五年このかた、町當局や議員の入達が一緒に居る様だから忠言を言つて居る様だから忠言するのだ。

これに町會議員選挙の「ボロ」は話にならないではないか。自分の不都合を棚に上げて罪人を出さねばならぬ事や、水面に水さは何たる事や、それだから人格者否認者だなど云はれるのだ、自業自得で怒られまい、早く辭めて懺悔して天罰は免れまいぞ。

第十期營業報告

昭和元年十二月卅一日現在

貸借対照表	
資産ノ部	
未拂込資本金	100,000.00
未收入工事金	101,000.00
什器	11,500.00
家屋及機械	4,800.00
振替口座	4,000.00
商品代未收	2,200.00
保証金	5,000.00
有價証券	1,200.00
四倉販賣勘定	1,800.00
青森工事	7,700.00
江名工事	1,000.00
宮商	1,000.00
萬年社立替	1,000.00
計	136,200.00
負債ノ部	
借入金	100,000.00
未拂配當金	10,000.00
未拂工事金	7,000.00
未拂工資金	1,500.00
借入金	1,500.00
法定積立金	3,500.00
銀行有價証券	5,500.00
別途積立金	3,000.00
前入	1,000.00
前期繰越金	1,200.00
計	136,200.00

利益金處分案

一金壹千九拾壹圓貳拾七錢也
一金八千貳百四拾五圓九拾九錢也
計金九千壹百參拾七圓貳拾六錢也
此レヲ處分スルコト左ノ如シ
一金五百圓也 法定積立金
一金參百圓也 重投資與金
一金七千五百圓也 株主配當金
一金壹千參拾七圓貳拾六錢也 後期繰越金
右之通相違無之候也
昭和元年十二月卅一日

堀江工業株式會社
取締役社長 堀江 定吉
専務取締役 江口 忠一

二日目満員
水戸黃門
平 館

冬の情景!!!
公園池畔に
御來遊あれ

ガシキモノ
貸 衣 裳
平古鍛冶町一
老荷屋貸衣業店

新らき柄と安値
白熱的の好評—實用多セル
ウールライン
伊勢崎錦仙模様
江戸襪丸帶小紋錦紗
豊當に取揃へ申候
三井呉服店
平町三丁目
電話三十八番

印刷物は 加納活版所

女中入用
年齢十七八歳以上—住込み或は通勤
平町紺屋町 佐藤 作 平

味噌と油
山崎合會社
東京支店
上野車坂四三
電話 下谷五七二番
振替東京六八三二番

加藤丈夫營業所
貸地案内
柳町 勤人向 八五〇 平町舊城跡 本九二ノ九
五丁目 同 四、五〇 平町大町、八幡小路
白銀町 同 一四、〇〇 柳町、内郷村線停車場附近
内郷村小島 同 一、二、〇〇

カキは一の井
料理はカキ
新治
ラウタール
一、其効顯著なるに實驗者は驚く
一、眞に淋病、消渴の特効新藥なり
一、惱み苦しむもの直ちに試みよ、必ず救はれん
定價 三圓也 重症用 拾圓
代理店 山野邊藥局
平町五丁目角

代理店 山野邊藥局
平町五丁目角